

2024年11月5日

川崎重工業株式会社  
Low Emission Technology Australia

## 川崎重工とLETA、CO<sub>2</sub>排出削減の実現化加速に向けて覚書を締結

川崎重工業株式会社（以下、川崎重工）とオーストラリアの低炭素化技術投資機関である Low Emission Technology Australia（以下、LETA）は、この度、二酸化炭素（以下、CO<sub>2</sub>）排出削減実現に向けた共同検討の覚書（以下、本覚書）を締結しました。

本覚書は、重工セクターで使用する燃料の燃焼後における CO<sub>2</sub> 回収技術（Post Combustion Capture、以下「PCC 技術」）の開発と展開で協力することを目的としています。PCC 技術は、排出源から CO<sub>2</sub> を回収することで、大気中への CO<sub>2</sub> の放出を防ぎ、CO<sub>2</sub> 排出削減に大きく期待される技術です。

LETA は、オーストラリアおよび各パートナーと共に、脱炭素技術の開発においてリーダーシップを発揮しています。川崎重工は、独自技術である Kawasaki CO<sub>2</sub> Capture<sup>※</sup>を用いて、将来のネットゼロ実現に貢献するために、世界的に CO<sub>2</sub> を除去に取り組んでいます。両者は、関係省庁、産業界、およびさまざまな取引先と協力し、ネットゼロをサポートする新技術を探求し、社会を支える産業界でのカーボンニュートラル実現に貢献します。

### ■各社コメント

川崎重工 エネルギーソリューション&マリンカンパニー

カーボンニュートラル事業戦略室長 安原克樹

「LETA と共に PCC 技術の開発と展開に取り組む機会を得たことを光栄に思います。川崎重工のカーボンキャプチャ技術とLETAの低排出技術の協力により、オーストラリアと日本を皮切りに、地球規模での脱炭素化を加速できると信じています。」

LETA CEO マーク・マッカラム

「私たちは、川崎重工との協力を正式に締結できたことを誇りに思います。川崎重工は低排出技術の先進的なイノベーターであり、私たちは重工セクターのネットゼロの未来に対するコミットメントを共有しています。今回の覚書締結は始まりに過ぎず、共同での取組みをさらに広げるための検討を開始しています。私たちは、川崎重工と協力して PCC 技術をさらに開発し、その可能性を探求して、日本とオーストラリアの産業を脱炭素化することを楽しみにしています。」

### ※ Kawasaki CO<sub>2</sub> Capture (KCC)

閉鎖空間中の空気からの CO<sub>2</sub> 除去技術を応用した CO<sub>2</sub> 回収プロセス。川崎重工が独自に開発したアミン固体吸収剤を用いることで、従来のアミン吸収液法による技術よりも、省エネルギーでの CO<sub>2</sub> 分離回収が可能。

以上